

ま ち の 話 題

豊岡

祝福芸とコウノトリで 良い年スタート!

コウノトリ文化館は、1月3日と4日に特別開館し、3日には伝統芸能「法花寺万歳」をホールで披露しました。同万歳は、正月に家々の座敷や門前で祝いを述べる門付け芸で、県の無形民俗文化財に指定されています。

当日は烏帽子を付け扇子を持つ太夫と黒頭巾をかぶり鼓を手にした才若が、三味線に合わせて踊りながら巧みな掛け合いを演じました。外では雪が舞い、白銀の中にコウノトリが舞い降り、すっきりと立っています。

新春らしい華やかさに包まれ、来館者は「コウノトリとおめでたい万歳を見られて、今年が良い年になります」と喜んでいました。



▲太夫(右)が主人公、裁着袴を着た才若が助演者。今の漫才でいうと、才若がボケで、太夫がツッコミ

城崎

円山川 初漕ぎ

今年も全国大会目指して 頑張るぞ!

1月5日、城崎町楽々浦、城崎ボートセンター周辺の円山川で、初漕ぎ(円山川城崎ボート協会主催)が行われました。これは、平成18年の「のじぎく兵庫国体」で、この地が競技会場になったことから同年に初開催。今年で8回目となる恒例行事です。

久しぶりに晴れ間がのぞく中、城崎中学校や香住高等学校のボート部員ら15人が順次ボートに分乗。オールの感触を確かめながらボートを滑らせました。同協会理事長の結城竜則さんは「全国レベルの大会を地元で毎年開催してきたが、昨年で一区切り。今後は、競技人口を増やすことが課題」と話していました。



▲水墨画のような雪景色を背景に初漕ぎを楽しむ参加者ら

竹野

竹野青少年空手道教室「寒稽古」 気合の「突き」で 寒さも吹き飛ばす!

1月14日、竹野浜海水浴場で、竹野青少年空手道教室の「寒稽古」が行われ、教室に通う小学生12人が参加しました。

寒稽古は、強い心を養うために毎年行っているもので、新年最初の練習です。風が吹き、雨が降る中、子どもたちは、古保治郎師範と海に入り、「えいっ!」の掛け声で気合の入った「突き」を繰り返し出していました。中川晃一くん(竹野小5年)は「寒かったですけど、気合を入れて頑張りました」と満足そうに話していました。

稽古後、子どもたちは、北前館の浴場で冷えた体を温めていました。



▲元気よく「突き」を繰り返し出す子どもたち

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報・交流係まで連絡ください。

日高

テニスクリニック

少しのアドバイスで

納得のプレーが!!

1月12日と13日、県立但馬ドーム(日高町名色)でテニスクリニックが開催されました。

園田学園女子大学(尼崎市)の協力もあり、初日には一般約40人、2日目には高校生以下約50人が参加し、各コースに分かれ、同大学テニス部員から指導を受けました。

参加者は、くせの指摘やフォーム安定のコツなどをアドバイスされ、その後のプレーに違いが見られるほど良くなっていました。

2日目には、幼稚園児と小学校低学年向けに、ボール遊び感覚の教室も開かれました。指導した学生は「各コートに活気があった。指導を生かしてほしい」と話していました。



▲真面目に指導を受ける中にも、笑い声が但馬ドームにこだまする

出石

生け花教室(お正月用) 生け花を通して

日本の美しさを残したい

12月27日、福住地区公民館で、生け花教室が開催され、10人の参加者がお正月用の生け花を生けました。

参加者の多くは初心者。嵯峨御流華道総司所理事の西村強甫さんから、生け花の基本を丁寧に教わりました。特に、「形だけではなく物を大切にすることで生けてください」という指導には、参加者も納得の様子。松やナンテン、センリョウ、アイリス、菊などを自由な発想で生けて、楽しみました。

教室に参加した女性は「いろいろな角度から美しく見えるように工夫しました」と、正月飾りの出来具合に満足そうでした。



▲西村さんの手本を熱心に見入る参加者

但東

平田どんど焼き

「無病息災・家内安全」

願いよ、天まで届け!

1月13日、但東町平田でどんど焼きが開催され、約80人の区民らでにぎわいました。

この神事は毎年小正月に行われています。区民らは、竹で高さ5メートル、周囲8メートルの櫓を手際良く組み立て、門松や正月飾り、書き初めなどを持ち寄りました。子どもたちが櫓に火を入れると、勢いよく燃え出し、「どんどや、どんどや」の掛け声とともに無病息災、家内安全などを祈りました。

同区ふるさと委員長の水谷保昭さんは「子どもたちも楽しみにしている伝統行事です。後世に伝え、大切に守っていききたいです」と子どもたちをやさしく見つめていました。



▲京阪神の大学生を中心とする平田子ども自然村の若者10人も参加し、交流